

日本職業リハビリテーション学会 第39回（愛知）大会 開催要項

テーマ「職業からみたインクルージョン」

会期：2011年8月25日（木）・26日（金）

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス

〒480-1198

愛知県愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間 1522 番 3

交通アクセス：「愛・地球博記念公園駅」から徒歩約5分

障害者制度改革推進会議での障害者基本法改正の趣旨・目的として、「個性と人格を認め合うインクルーシブ社会の構築」や「障害概念を社会モデルへ転換、基本的人権を確認」などが示されています。障害者権利条約のキーワードのひとつである「インクルージョン（包摂）」は「エクスクルージョン（排除）」の反意語であれば何となく理解できるような気がします。しかし、まだまだ我々にはなじみのない「インクルージョン」であることにはまちがいありません。そこでこの「インクルージョン」について、職業から考えてみようというのが今回の大会テーマです。大会企画分科会では、なじみのうすい早期精神病や失語症も取り上げます。あまりにも大きなテーマですので、まとまりに欠けてしまうかもしれません。大会が開催される8月の通常国会に障害者基本法の抜本改正の法案が提出されることになっています。今大会が多くの方々に「インクルージョン」について考えるきっかけとなることを願っています。

日本のほぼ真ん中に位置する愛知県での開催です。たくさんの口頭・ポスター発表、自主分科会の申し込みをお待ちしています。また全国から多くの方々の大会への参加をお待ちしています。

第39回大会長 吉川雅博（愛知県立大学）

《開催スケジュール》

月 日	時 刻	内 容	
8月25日 (木)	9:30~10:00	研修基礎講座受付	
	10:00~12:00	研修基礎講座	
	12:00~13:00	大会受付	昼食
	13:00~13:10	開会式	
	13:10~14:20	基調講演 「ソーシャル・インクルージョンと職業リハビリテーションの方向」 放送大学 大曾根 寛 氏	
	14:30~16:30	大会企画分科会 ① 高次脳機能障害者が働き続けるために ② 早期精神病患者への就労支援 ③ 失語症者の「働きたい」を支えるには ④ 就労支援機関と教育機関との連携	
	16:40~17:40	会員総会	
	18:00~20:00	懇親会	
8月26日 (金)	9:00~9:30	受付	
	9:30~12:30	口頭発表	ポスター発表 在席責任時間 13:00~14:00
	12:30~14:00	昼食	
	14:00~16:00	シンポジウム 「就労と支援の現場から インクルーシブな社会を考える」	自主分科会 (募集)
	16:10~16:30	閉会式 (学会大会奨励賞授与)	

《研修基礎講座のご案内》

大会初日、8月25日（木）の午前に学会研修委員会の主催で2つの研修講座が開催されます。公開講座となっておりますので、学会員以外の方も受講することができます。当日参加も可能ですので、ぜひご周知ください。

講座の詳細が分かり次第、学会大会ホームページでお知らせいたします。

《大会企画内容のご案内》

1. 基調講演

ソーシャル・インクルージョンと職業リハビリテーションの方向

～障害者権利条約と制度改革の議論を踏まえて～

大曾根 寛 氏（放送大学）

障害者権利条約と各国の施策の動向（とくにフランスの政策）との相互作用に関する従来の議論や研究を踏まえて、障がい者制度改革推進会議での検討事項、立法の方向性について論ずる。具体的には、障害者基本法の改正案、障害者総合福祉法案、障害者差別禁止法案、障害者虐待防止法案、その他の基本的な法案が、職業に関連する政策とどのようにかかわっているのかを、人格の固有性（インテグリティ）、人権と基本的自由、平等原則（差別禁止、合理的配慮を含む）、地域で生活する権利、ソーシャルインクルージョン（社会的共生）などの視点から考察する。

基調講演は、それ自体で完結するものではなく、今大会における各企画、2日目のシンポジウムの議論に繋がるような問題提起を行うものとする。2日間の大会を通して、誰も排除しない＝誰にも役割と居場所のある社会＝インクルーシブな社会の実現に向けて、職業リハビリテーションという領域の活動が、どういう役割を果たすべきなのかを、様々な角度から論じていただきたい。

2. シンポジウム

就労と支援の現場から、

インクルーシブな社会について考える

約10年ぶりの愛知開催となる今大会では、この10年間の社会の変化を私たちはどう受けとめて実践に臨んでいるのかを確認したいとの思いを込めて、「インクルージョン」をテーマに掲げた。大会の口火を切る基調講演において、インクルーシブな社会の実現に職業リハビリテーションが果たす役割について様々な角度から問題提起を行う。

では、その役割は、職業リハビリテーションの現場ではどのように実践されているのか。あるいは、その実践はインクルーシブな社会の実現へと向かうものなのか。

インクルーシブな社会の実現には、多様性を認め尊重することが必要だと言われる。多様性（Diversity）という言葉が、生物学から社会科学、教育、文化、芸術、そしてビジネスにおいても重要なキーワードとして登場して久しい。労働分野では「多様な働き方」として、必ずしも正社員・正規雇用のみにこだわらない様々な就労形態が模索されている。それらはインクルーシブな社会の礎となり得るものなのだろうか。そもそも、インクルーシブな社会とは、職業リハビリテーションの現場においてはどのように認識されているのだろうか。

大会を締めくくるシンポジウムでは、これらインクルーシブな社会の実現と職業リハビリテーションをめぐる課題について、「多様な働き方」「多様な働く場」を創造してきた実践家に論じていただく。そして、大会参加者からの質問や意見を交えながら、果たして今現在の私たちが取り組む職業リハビリテーションの実践は、インクルーシブな社会の実現に多少なりとも寄与しているのか、あるいはどのような職業リハビリテーションの実践がインクルーシブな社会を実現するのか、等々を参加者全員で考える場としたい。

（大会参加者からの質問や意見は、基調講演終了後から受け付ける予定です。詳細は別途ご案内します。）

司会進行

吉川 雅博 氏（愛知県立大学）

助言者

朝日 雅也 氏（埼玉県立大学）

話題提供者

長友 朗 氏（株式会社クレール 相談役（参天製薬株式会社特例子会社））

吉田 周生 氏（有限会社ヨシダ精工 代表取締役、
就労継続支援 A 型事業所プレジャーワーク株式会社 代表取締役、
熊本県中小企業家同友会 障がい者雇用支援委員会 委員長）

栗原 久 氏（財団法人箕面市障害者事業団 事務局長）

松岡 茂 氏（社会福祉法人ニコニコハウス ニコニコハウス鶴里 施設長）

3. 大会企画分科会

① 高次脳機能障害者が働き続けるために

～生活支援・居場所・余暇支援に焦点を当てて～

高次脳機能障害者が安定した就労を継続していくためには、就労と生活の包括的支援体制が必要であり、その軸は生活支援・居場所・余暇支援の3つではないかと考える。職業生活を支える生活面において、疾病や障害の管理、生活技能のスキルの獲得やストレス対処を含めた日常生活の維持は必要不可欠であるが、就労支援サービスのみではやりきれないのが現状である。安定した就労を継続していくためには、どこで問題をキャッチし、どのようなサポートが必要なのかを考えたい。また、高次脳機能障害者の生活面で出てくる問題や、どのような時に問題が生じるのかを検討し、高次脳機能障害者が働き続けるためにどのようなサービスや支援が必要かを考えたい。

司会進行

中村 俊彦 氏 (浜松大学)

助言者

阿部 順子 氏 (岐阜医療科学大学)

話題提供者

濱田小夜子 氏 (サポートネット広島)

金田 祥史 氏 (多機能型事業所ワークだんだん)

繁野 玖美 氏 (世田谷区立総合福祉センター)

古谷 香奈 氏 (ワークハウス みかんやま)

② 早期精神病患者への就労支援

～精神障害の臨床像の変革にともない私たちも変わる準備をしよう～

本邦でも、精神疾患の早期介入や予防および早期治療を実現し、転帰を改善しようという組織的試みが成されて久しい。今後わが国の実情にあった早期介入・治療システムの構築が進めば、精神疾患ならびに精神障害の臨床イメージは大きく変革する。発症の多くが思春期に源をもつ精神疾患では、障害像の変革は、就労支援場面で精神障害者に会う機会を増やし、その質を変容させる。今後早期精神病患者への就労支援は日常的な課題となるだろう。分科会では、早期精神病患者への新たな試み、展望、就労支援の実態を紹介し、参加者とのディスカッションを通して、新たな臨床像に適した就労援助を考える一助を得たいと思う。

司会進行

山田 純栄 氏 (日本福祉大学)

話題提供者

港 美雪 氏 (前吉備国際大学)

本間 貴宣 氏 (すずかけクリニック)

中村 泰久 氏 (日本福祉大学)

看護の立場で調整中

③ 失語症者の「働きたい」を支えるには（失語症者の職業生活支援実践）
～ニーズアセスメント・途切れない支援・地域支援ネットワーク～

失語症者は自ら「失語症があるから働けない」とあきらめている方が多いのではないかと。失語症者の第一次支援のキーパーソンであるSTは、社会参加ニーズを十分にキャッチできていないのではないかと。ニーズをキャッチしたとしても、就労支援を担う社会資源を知らずに、適切な社会的サービスに繋ぐことができていないのではないかと。結果として、「働きたい」と思っても、就労にチャレンジすることなく、不本意ながら、安全地帯としての介護保険のデイサービスを利用するに留まっている事例が多いのではないだろうか。

当分科会では、様々な失語症者の働く事例の話題提供を受けて、就労支援の現状と課題を明確にしたい。適切な社会的サービスに繋がる仕組みはどのようなものなのか、地域では今、どのような支援ネットワークが期待されているのかを、明らかにしたい。

司会進行

加藤 朗 氏（名古屋市総合リハビリテーションセンター）
山田 和子 氏（名古屋市総合リハビリテーションセンター）

話題提供者

鈴木 朋子 氏（愛知淑徳大学）
田谷 勝夫 氏（障害者職業総合センター）
飯沼 舞 氏（医療法人社団KNI 北原国際病院）
梅北 健一 氏（NPO 法人ドリーム、職員、障害当事者）
阿字地悠基 氏（NPO 法人ドリーム、職員）

④ 就労支援機関と教育機関との連携
～学校在籍時から「つながる」就労支援～

特別支援学校等に在学している障がい学生を就労支援事業所と連携し、よりスムーズな就労のマッチングと定着支援を実施したい。これまでも特別支援学校に在籍して公的な支援機関に登録し、連携しながら就労へ結びつけるケースはあるが、数に限りがあると思われる。しかし、障害者自立支援法下の就労支援機関などにも在学中から登録することができれば早期から就労へ向けての準備機会が増え、また定着支援もスムーズに移行できる可能性が高いと考えられる。この分科会では、教育機関である「学校」と福祉施設である「就労支援事業所」がどのように連携していけば、より効果的で長く働くことができる環境を創ることができるか参加者の皆様と考えたい。

司会進行

清水 崇志 氏（就労移行支援センターC.O.College）

話題提供者

佐藤 一雄 氏（愛知県立春日台養護学校）
山室奈津江 氏（愛知県立一宮東養護学校）
原田 佳子 氏（社会福祉法人名古屋ライトハウス 明和寮）
調整中

《大会参加申込みのご案内》

1. 参加申し込み方法

大会ホームページから申し込みいただくこととなりますが、参加申し込みの受付は6月から開始の予定です。

2. 大会参加費等

大会参加に伴う諸費用の詳細は、下の表に示すとおりです。なお、大会参加費の入金締め切りは、**8月10日(水)**です。期日までの入金で、事前参加登録の完了となります。

大会参加費	正会員	事前	3,000円	参加費には、発表論文集1冊を含みます。 事前参加登録(前納)は、 8月10日(水) が締め切りです。それ以降は当日参加の金額となりますので、ご了承下さい。
		当日	4,000円	
	非会員	事前	5,000円	
		当日	6,000円	
	学生	事前	2,500円	
		当日	2,500円	
懇親会費			3,500円	
弁当代			800円	お茶付きです。初日分、2日分があります。
研修基礎講座			1,500円	正会員は無料です。
事務手数料			500円	

当日受付も承りますが、できるだけ事前に申し込み、及び、入金をお済ませ下さい。大会参加費を初め、諸費用はすべて振り込みで納入して下さい。納入方法については、参加申し込み受付後に、Man to Man Animo 株式会社から連絡します。なお、いったん納入された費用はお返しません。

3. 懇親会

8月25日(木) 18時から大学キャンパス内の食堂で懇親会を開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしています。

4. 昼食

会場周辺には飲食店がありませんが、大学キャンパス内の食堂がご利用いただけます。お弁当を用意しました。1食800円です。ご希望の方は、参加申込書にその旨ご記入ください。

《障害のある参加者への支援》

障害のある参加者の方には可能な限りのサポートを行います。参加を計画された時点で大会事務局までご相談ください。

《宿泊の斡旋等について》

大変申し訳ありませんが、今回は宿泊の斡旋は行いません。会場（愛知県立大学）周辺には宿泊施設がほとんどありませんが、名古屋駅や栄駅付近にはたくさんの宿泊施設があります。各個人でお申込みやご手配をお願いします。

また、観光についても、大会事務局でご相談に乗ることはできません。当日添付の資料などを参考にして下さい。

<名古屋駅から会場までの交通アクセス>

名古屋駅（地下鉄東山線：約 30 分）藤が丘駅（リニモ：約 15 分）愛・地球博記念公園駅

《大会会場案内図》

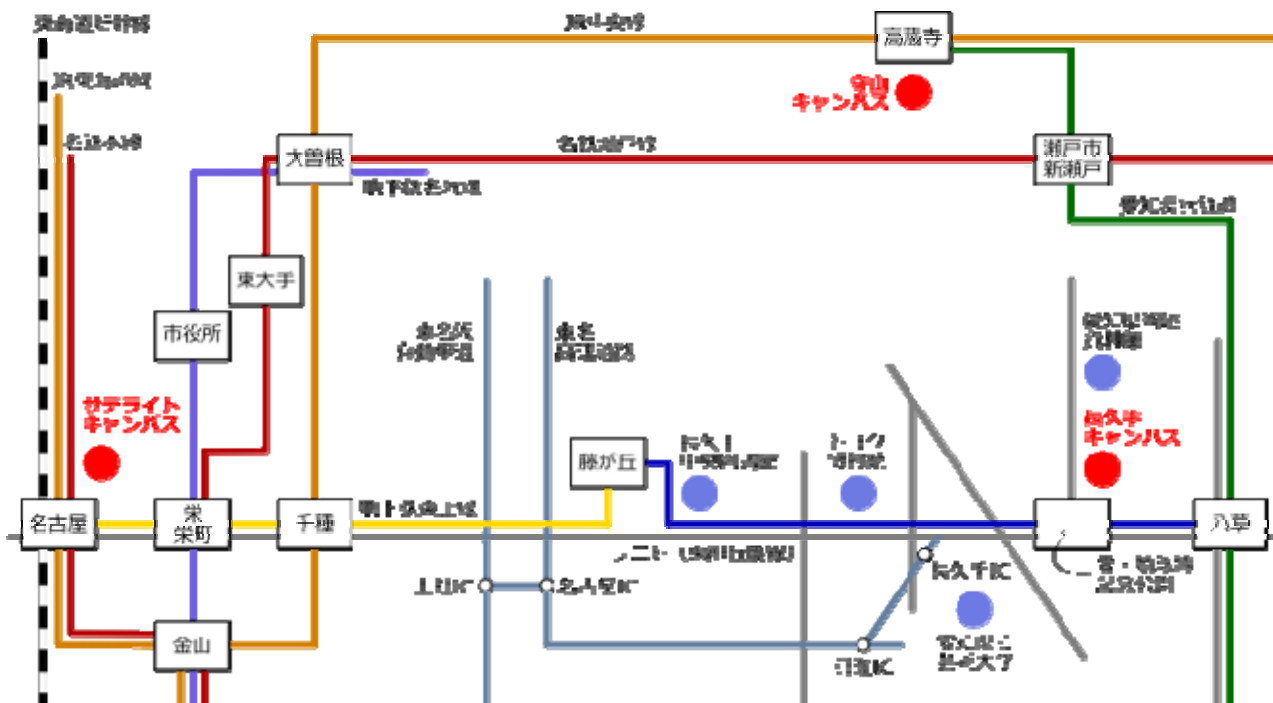
愛知県立大学 長久手キャンパス

〒480-1198 愛知県愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間 1522 番 3

TEL:0561-64-1111

リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分

リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分



《研究・実践発表の募集》

1. 研究・実践発表者の資格および発表内容

- ①筆頭発表者及び連名発表者は、**2011年5月10日（火）現在**で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。正会員で2011年度年会費未納の方は**2011年5月10日（火）まで**に納入を完了してください（会費未納の場合は、大会での発表資格を失う可能性が生じます）。正会員でない方の場合は、学会ホームページから入会申し込みの手続きができます。
- ②筆頭発表者は、研究発表申し込みを**2011年5月20日（金）まで**に行ってください。
- ③発表内容は、職業リハビリテーションに関する未発表のものとなります。また、発表当日に35歳以下の発表者は日本職業リハビリテーション学会大会奨励賞の対象とします。奨励賞には、「調査・研究部門」と「実践部門」の2つの部門がありますので、発表申込の際に部門を選んでください。

2. 留意事項

- ①研究・実践発表は1人1題に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ②同一グループによる連続発表は3題までとし、発表申込書の該当欄に連続発表する標題を記入して下さい。
- ③発表形式は口頭発表とポスター発表の2形式があります。ご希望の形式で申し込みをいただきますが、事情により、変更をお願いする場合がありますのでご了解をお願いします。
- ④申し込みにあたっては、学会研究倫理指針・学会員倫理規定・研究倫理チェックリストを参考に、作成してください。また、発表原稿送付時に大会ホームページにある学会発表用研究倫理チェックリストをダウンロードし、該当項目をチェックして学会ホームページに登録して下さい。
- ⑤発表者の資格、研究倫理、発表内容などについて、大会事務局から問い合わせをする場合がありますので、連絡先（メールアドレスなど）は必ずご記入ください。

【口頭発表】

- ①発表時間は1題につき20分間です。15分間で発表を行い、残りの5分間は質疑・応答にあてられます。ただし、進行については座長に一任されます。
- ②使用できる機器はPCプロジェクターです。ビデオ、その他の必要がある場合は、発表論文集原稿の提出時に、大会事務局にご相談ください。

【ポスター発表】

- ①所定の時間中にポスターを掲示し、かつ大会プログラムで指定された在席時間に質疑・討論に応じることで発表と認められます。在席時間に不在又は質疑・討論に応じない場合は発表取り消しとなります。
- ②会場にポスター掲示用ボードを用意します。そのボードに持参したポスターを各発表者が掲示し、時間が来たら撤去してください。掲示のための画鋲、セロハンテープは会場に用意します。

3. 発表申込み方法

①申し込み期間：**2011年5月20日（金）まで**

②申し込み手続：筆頭発表者は学会ホームページから発表申込書をダウンロードし、必要事項を入力して学会ホームページに登録してください。

★発表演題・分類番号については、以下の番号からお選び下さい。

- 1：身体障害者
- 2：精神障害者
- 3：知的障害者
- 4：高次脳機能障害者
- 5：発達障害者
- 6：その他の障害者
- 7：障害種別なし
- 8：その他

③発表論文集原稿の送付期限は**2011年6月30日（木）**必着です。

④発表論文集原稿の作成は別紙の「発表原稿作成要領」に従って作成してください。原稿はA4版2ページとし、Word（Windows）で作成してください。Word ファイルを大会ホームページに登録してください。

⑤データを送信する前に、次の処理を行ってください。

- ・文中の図表は、例えば Word（Windows）で作成する場合は図（Windows 拡張ファイル）もしくは図（Windows メタファイル）形式で貼り付けてください。コピーして単に貼り付けた場合には、場合によっては元の図表とのリンクが作成され、原稿の図表が表示されない恐れもあります。
- ・写真をデジカメで撮影した場合には写真のサイズが2M、5Mになります。デジカメで撮影した場合、あるいは引用等でサイズが大きい場合には必ず圧縮して原稿に貼り付けるようお願いいたします。

⑥発表に使用する機器等についても申し込み用紙にご記入ください。なお、発表者には、後日あらためて使用機器等の確認をさせていただきます。プレゼンテーションは Windows の機器で作成するようにお願いいたします。発表会場では、Windows のノートパソコン（XP、PowerPoint2007）のみをご用意させていただきました。

《自主分科会の募集》

1. 資格

- ①自主分科会の企画者・司会者は、**2011年5月10日（火）現在**で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。話題提供者等は非会員であっても差し支えありません。
- ②自主分科会の企画者は、自主分科会の申し込みを**2011年5月20日（金）まで**に行ってください（詳しくは後述）。
- ③自主分科会の企画者・司会者となる会員は、2011年度年会費の納入を**2011年5月10日（火）まで**に完了しておいてください（会費未納の場合は、大会での開催資格を失う可能性が生じます）。

2. 形式

- ①時間は全体で、2時間です。運営は企画者に一任されます。
- ②会場にはPCプロジェクターが設置されています。PCプロジェクターでのプレゼンテーションを予定されている方は、ご自身で、ノートPC等をご持参下さい。詳細は、大会事務局へご相談下さい。

3. 留意事項

自主分科会の企画の諾否を大会実行委員会で決定し、**2011年5月31日（火）まで**に連絡させていただきます。

4. 申込み方法

- ①申し込み期間：**2011年5月20日（金）まで**
- ②申し込み手続：企画者は学会ホームページにある「自主分科会申込書」をダウンロードし、必要事項を入力して学会ホームページに登録してください
- ③自主分科会の申し込みの際は、分科会の題目、趣旨を詳しくご記入ください。諾否は**2011年5月31日（火）まで**に、ご連絡します。
- ④自主分科会のための原稿の登録期限は**2011年6月30日（木）**必着です。
- ⑤発表論文集に掲載される話題提供者の原稿は必ずしも「発表原稿作成要領」に従わなくても結構ですが、発表者1名につき**1ページのみ（1400字程度）**とし、文字のフォント、大きさ等を合わせていただくとありがたく存じます。
- ⑥発表論文集に掲載する原稿は、Wordファイルで作成し学会ホームページに登録してください。
- ⑦データを送信する前に、次の処理を行ってください。
 - ・文中の図表は、例えばWord（Windows）で作成する場合は図（Windows拡張ファイル）もしくは図（Windowsメタファイル）形式で貼り付けてください。コピーして単に貼り付けた場合には、場合によっては元の図表とのリンクが作成され、原稿に表示されない恐れもあります。
 - ・写真をデジカメで撮影した場合には写真のサイズが2M、5Mになります。デジカメで撮影した場合、あるいは引用等でサイズが大きい場合には必ず圧縮して原稿に貼り付けるようお願いいたします。
- ⑧自主分科会の話題提供者等は大会参加申し込みを必ずお願いします。

《諸手続きの締め切り期日および連絡予定》

- 2011年5月10日（火）** 研究発表予定者の学会入会締め切り
- 2011年5月20日（金）** 研究発表、自主分科会の申し込み期限
- 2011年5月31日（火）** 自主分科会の諾否連絡
- 2011年6月30日（木）** 研究発表原稿、自主分科会資料登録期限
- 2011年8月10日（水）** 事前参加登録（前納）期限

日本職業リハビリテーション学会第39回（愛知）大会

自主分科会申込書

企画者氏名(ふりがな)		所 属
()		
連絡先	TEL:	FAX:
	E-mail:	
<題目>		
<趣旨・内容>		
司会者(ふりがな)		所 属
()		
(ふりがな) 話題提供者	所 属	会員／非会員
()		会員 ・ 非会員
()		会員 ・ 非会員
()		会員 ・ 非会員
()		会員 ・ 非会員
()		会員 ・ 非会員

発表申込締切：2011年5月20日（金）

日本職業リハビリテーション学会第39回（愛知）大会 発表申込書

発表方法 <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> ポスター	
標題:	
同一グループによる連続発表 無・有 → 標題	
キーワード(5語程度):	
発表・演題分類番号: 第1希望() 第2希望() 第3希望()	
発表者氏名(ふりがな) (講演者には○、35歳以下の講演者には◎)	所 属
()	
()	
()	
()	
()	
()	
講演者が35歳以下の場合 → 学会大会奨励賞 調査研究部門 ・ 実践部門	
使用機器 <input type="checkbox"/> PCプロジェクター <input type="checkbox"/> その他(理由)	
プレゼンテーション作成ソフト <input type="checkbox"/> Windows パワーポイントをお使いになる場合のバージョン → 2003・2007・その他()	
※発表会場には、Windows のノートPC(XP、PowerPoint2007)をご用意しています。	
講演者連絡先(各種通知は基本的に電子メールを使います。電子メールアドレスをお持ちの方は必ずお書きください。)	
所属	
氏名	E-mail
TEL	FAX
概要(約300字) 目的、方法、結果、結論などを簡潔に記載してください。	

発表申込締切: 2011年5月20日(金)

日本職業リハビリテーション学会第39回（愛知）大会

発表原稿作成要領

上余白 2.0 c m

職業リハビリテーションに関する研究

◎愛知 太郎(〇〇大学△△学部)
名古屋花子(□□就労支援センター)

1.5 c m 1.5 c m

1. 原稿サイズ
用紙サイズは、A 4 縦を選択して下さい。A 4 の白紙に原寸で印刷したものを版下原稿とします。

2. 原稿枚数
2 ページ

3. 標題、氏名、所属
標題は 1 2 ポイントの**ゴシック**を使用し、中央に書いてください。
氏名、所属は 1 1 ポイントで氏名の右に所属を部署まで丸括弧で囲んで書いてください。発表者の前には○印、発表当日 3 5 歳以下の発表者の場合には◎をつけてください。

4. 本文
上下 2.0 c m、左右ともに 1.5 c m の余白を設けてください。
文字数は 1 ページ目が標題、氏名、所属を除いて、40 字×35 行=1400 字程度、2 ページ目は 40 字×40 行=1600 字程度となるように設定してください。

5. 図表・写真
縮小しすぎると文字が読めなくなりますので、ご注意ください。カラー印刷ではありませんので、線や記号の区別、写真のコントラストにご注意ください。

6. 参考文献
本文中で引用箇所には、文章の右肩に小括弧を付した番号を記入し¹⁾、本文中の末尾に番号順に記載してください。

7. 発表者連絡先
参考文献の後に発表者の連絡先を記載してください。
TEL : □□□-□□□□
E-mail : △△△@〇〇〇〇

下余白 2.0 c m

《連 絡 先》

お問い合わせ、ご連絡等は以下にお願いします。

【日本職業リハビリテーション学会 第39回大会事務局】

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

名古屋市総合リハビリテーションセンター就労支援課内

電 話 : 052-835-3692 (直)

F a x : 052-835-3745 (代)

E m a i l : j s v r 3 9 a i c h i @ y a h o o . c o . j p

大会ホームページ

<http://www.normanet.ne.jp/~vocreha/taikai/39kai/>